

報道機関各位

『ポケモン×工芸展 一美とわざの大発見』

来館者5万人達成/特別対談開催

来館者5万人達成

7月6日(土)よりMOA美術館(静岡県熱海市)にて開催している『ポケモン×工芸展 一美とわざの大発見』が来館者5万人を達成した。同館では2017年のリニューアルオープン以降最速での5万人達成である。開館時間から館内は盛況を呈し、午前11時に5万人達成のセレモニーが開催された。

記念すべき5万人目の来館者は神奈川県相模原市からお越しの菊池大智さん(35)・有香さん(36)・奏都さん(5)・咲音さん(2)ご家族。

有香さんは「朝からポケモン×工芸展を見に熱海に来たが、5万人記念の来館者になってとても驚いている。」奏都さんはこの日ポケモン柄の甚平を着用し、好きなポケモンはダークライとのこと。

5万人を記念してMOA美術館館長内田篤典と株式会社ポケモン常務執行役員田中雅美より記念品が贈呈された。

内田館長は「これだけ早く5万人達成ができ、ポケモンの凄さを感じている。また子供たちが多く訪れ、親や祖父母にポケモンの解説をしている姿を見て微笑ましく感じている。」とコメント。

田中氏は「来館者数だけでなく、多くの世代の方々に作品を見ていただけたことを大変嬉しく思う。」と述べた。

特別対談開催 城間栄市×葉山有樹

同日13時より、MOA美術館応接室にて城間栄市氏、葉山有樹氏の2名による特別対談が開催された。出品作品の制作にまつわるエピソードや、ポケモンの世界とどのように向き合ったのかなどテーマに1時間にわたって行われた。

城間氏は「若い世代に工芸を見てもらえる良い機会だと感じた。これをきっかけに紅型や工芸を知ってもらえたらありがたい。細部まで見てもらいたい。」と述べた。

葉山氏は「初めて訪れた美術館だが展示の仕方が素晴らしい。先日まで制作に取り組んでいたのに、客観的に見るのが難しかったが、皆様には是非楽しんで見ていただきたい。」

と述べ、対談を締めくくった。

《本プレスリリースに関するお問い合わせ》

MOA 美術館 広報

e-mail : moaart-info@moaart.or.jp

FAX : 0557-84-2570

《ポケモン×工芸展 静岡会場に関するお問い合わせ》

MOA 美術館 広報

e-mail : moaart-info@moaart.or.jp

FAX : 0557-84-2570

- 本企画展および関連イベントの詳細は、別添資料の通りです。
 - 別添資料に掲載されている写真素材がご入用の際も上記、MOA 美術館広報宛てにご連絡にお問い合わせください。
-

<提供写真素材>

1. 5万人達成の記念写真

左から株式会社ポケモン常務執行役員 田中雅美、菊池大智（きくち たいち）さん、咲音(さきね)さん、奏都（かなと）さん、有香（ゆか）さん、MOA美術館館長内田篤呉



2. 記念品一覧

ピカチュウぬいぐるみ・図録・マグカップ・フリーカップ・ハンドタオル・トートバッグ



3. 特別対談の様子



城間栄市（しろま えいち）氏



葉山有樹(はやま ゆうき)氏

